

小中一貫教育

内川議員 子どもたちの成長や発達を支援するためには、小・中学校間のつながりが大切である。集団の活力を生かして、コミュニケーション能力の基礎となる力を育成する小中一貫教育について、どのように考えているのか。

答 子どもたちの成長には、教育の連続性が大切であり、義務教育の9年間を見通して、教育課程や指導方法を考えることが必要である。また、小学校から中学校へと進学する過程での学習や人間関係は、人格形成の基盤にも影響することがあると考えている。他区の事例なども踏まえ、区の実態に合った連携教育のあり方を研究していきたい。

道徳教育

篠議員 文部科学省は、政府の教育再生会議が求めた道徳の教科化や、道徳教育の中心となる教員を各小中学校に一人ずつ配置することを次期学習指導要領に盛り込むこととしたが、①道徳の教材となる、先人の生き方に関する副読本について、どのように考えているのか。②先人の生き方を題材とする狙いをどのように考えているのか。

答 ①指導にあたり、大きな役割を果たすものである。各学校が、教材選定時に、指導要領の変更の趣旨を踏まえらるるよう指導・助言を行っていく。②児童が感銘を受ける魅力的な題材と考えている。

桃花小体育館改築

むとう議員 体育館改築計画について、教育委員会は07年度中に基本設計を完了すると説明してきたが、業務委託の件名は「改築計画支援業務委託」であり、基本設計まで至っていないのではないかと用語を統一するとともに、拙速とならないよう、施設整備を図っていくべきでは。

答 基本計画は12月に決定しており、現在、基本設計の一部に着手した段階であるが、19年度中に平面図、立面図、断面図などの成果物ができると、これをもとに意見を聞いて進めていく。

区政一般

外郭団体への再就職

山崎委員 シルバー人材センターなど外郭団体へ区職員OBを紹介しているが、これは、天下一りに該当するのか。

答 天下一りは、一般的に上からの一方的な押しつけで団体などに受け入れさせるものである。中野区の場合は、当該団体から、情報提供の要請があった際に人材を紹介しているもので、天下一りではない。

コンプライアンスの向上

奥田議員 20年度予算に、コンプライアンスの推進体制の整備費を計上し、法令遵守の体制の強化を打ち出している。これは我々中野区の民主党のマニフェストの中でも、うたっている。しかし、区長

の権限の一部である、職員の処分権が、法的な根拠なく副区長(旧助役)に委任されていることが明らかになった。この状態が放置されていることは、レアケースとはいえ、コンプライアンスの向上という点から、問題だと考えている。区はどのように認識し、今後どのように対応するのか。

答 一般的には規定の整備の必要があることは、認識しており、規定を整備すべきと考えているが、既に行った処分の有効性に影響することだとは思っていない。

職員2000人体制

飯島議員 区は、2000人体制を目指しているが、①職員の削減により、区民サービスの質と量は低下しないのか。また、人件費を削減しても、物件費が増えるのでは、意味がない。コストの削減につながるのか。②精神論だけでは、機能しない。2000人体制を着実に推進するため、電子自治体の構築に取り組むべきではないか。

答 ①コストの削減を図りながら、区民サービスの更なる向上を目指していきたい。②民間活力の活用と合わせて、改善も必要と認識しており、積極的に取り組んでいきたい。

酒井議員 ①区職員の「病気休暇制度」は、民間企業と比べると恵まれ過ぎである。国や東京都などでも、給与を100%支給する期間を90日とする見直しが行われている。民間企業を参考としている給与などと同等に、見直すべきではないか。②「病気休暇制度」についても、国などでは給与を80%支給する期間を1年間とする見直しが行われている。中野区が、23区の人事行政をリードし、情報発信を行い、改革を進めるべきではないか。

答 ①東京都などでも、国と同様の基準とするよう、見直しが行われている。区も、区民の理解が得られるよう、見直しに向けて検討していきたい。②適時適切な対応を図ってきたい。

第1回定例会

可決した議案

区長提出議案

を改正する条例

- 平成19年度中野区一般会計補正予算(第5次)
- 平成19年度中野区国民健康保険事業特別会計補正予算
- 平成19年度中野区老人保健医療特別会計補正予算
- 平成19年度中野区介護保険特別会計補正予算
- 平成20年度中野区一般会計予算
- 平成20年度中野区用地特別会計予算
- 平成20年度中野区国民健康保険事業特別会計予算
- 平成20年度中野区老人保健医療特別会計予算
- 平成20年度中野区後期高齢者医療特別会計予算
- 平成20年度中野区介護保険特別会計予算

●中野区職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

- 中野区職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
- 中野区立幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
- 中野区立幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- 中野区事務手数料条例の一部を改正する条例
- 中野区職員倫理条例
- 特別区人事及び厚生事務組合規約の変更について
- 中野区ひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例
- 中野区大気汚染障害者認定審査会条例の一部を改正する条例
- 中野区保育所条例の一部を改正する条例
- 中野区社会福祉会館条例の一部を改正する条例
- 中野区生業資金貸付条例を廃止する条例
- 中野区応急資金貸付条例の一部を改正する条例
- 中野区奨学金貸付条例を廃止する条例
- 中野区女性福祉資金貸付条例を廃止する条例
- 中野区高齢者及び障害者の入院資金の貸付けに関する条例を廃止する条例
- 中野区老人保健高額医療費

●中野区立小学校及び中学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例- 中野区国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 東京都後期高齢者医療広域連合規約の変更について
- 中野区営住宅条例の一部を改正する条例
- 特別区道路線の認定について(上鷺宮五丁目635番〜634番)
- 特別区道路線の認定について(上鷺宮五丁目635番〜639番)

第1回定例会

可決した意見書

(要旨)

社会福祉事業従事者の確保対策を求める意見書

営業者や関係団体等のネットワーク構築など、広域的な視点に立って、区市町村単位で行うことが難しい人材確保の取り組みを進められたい。中野区議会は、国及び東京都に対し、上記の事項について、特段の措置を講じるよう強く要請する。(衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣、東京都知事あて)

道路特定財源の暫定税率維持を求める意見書

道路特定財源は、直接の道路建設のみならず、市街地再開発事業、土地区画整理事業、鉄道駅の改良などにもあてられ、暫定税率が廃止された場合、中野区のみならず、教育、福祉といった他の行政サービスの水準を維持すること

中野区議会ホームページをご利用ください
中野区議会では、いち早く区民のみならず、まへ情報をお届けするため、ホームページを開設しています。会議録、委員会資料、議員紹介、区議会からのお知らせなどがご覧いただけます。ぜひご利用ください。
中野区議会ホームページURL
http://kugikai.city.nakano.tokyo.jp/